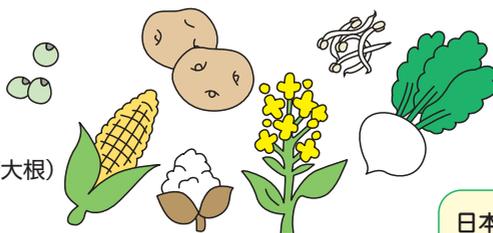


遺伝子組換え食品(作物)には どんなものがありますか？ どこで作られているのですか？

どんなものがありますか？

日本で安全性が確認され、販売・流通が認められているのは7作物です。

大豆
とうもろこし
じゃがいも
なたね
わた
てんさい(砂糖大根)
アルファルファ

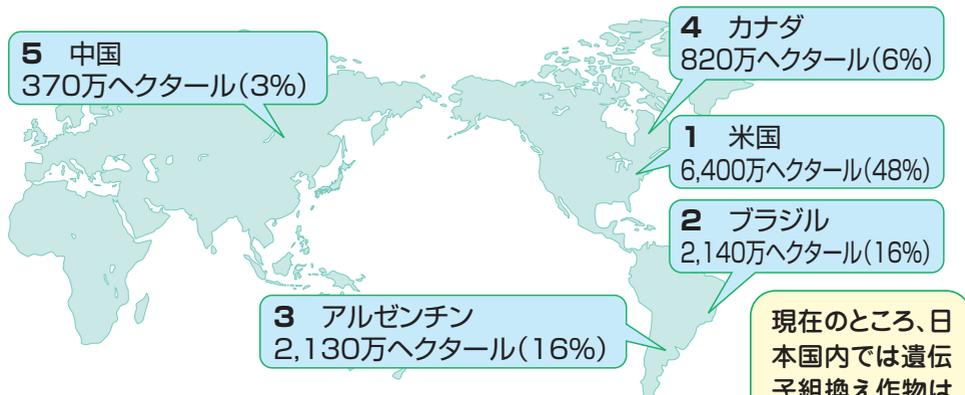


日本の耕地面積の
20倍以上となります。

どこで作られているのですか？

遺伝子組換え作物の作付け面積(2009年)は、世界25カ国で1億3,400万ヘクタール

●国別トップ5



現在のところ、日本国内では遺伝子組換え作物は商業的には栽培されていません。

()は世界の遺伝子組換え作物作付け面積に占める割合

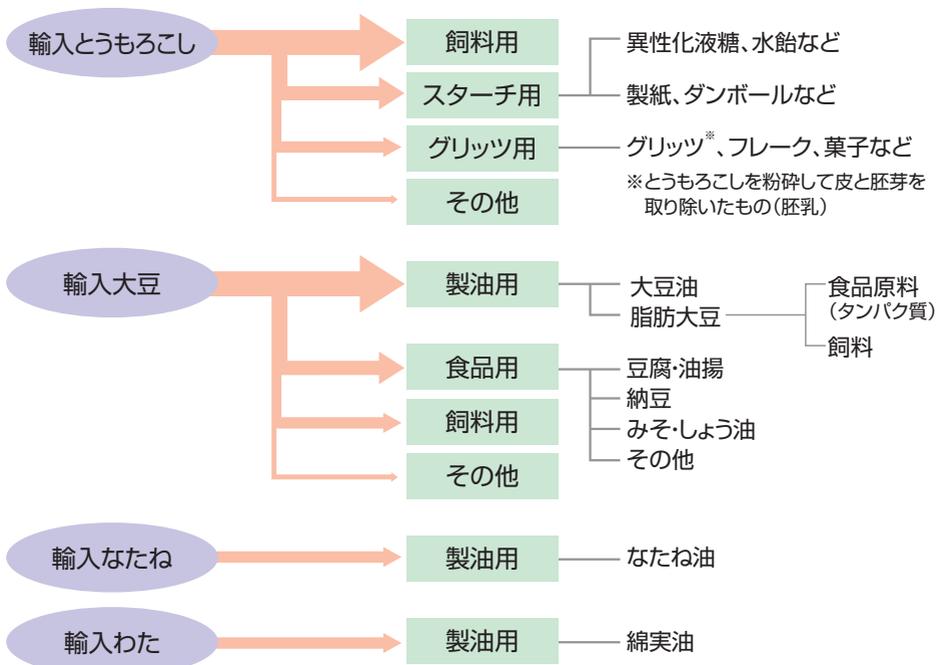
●作物別トップ4

- 大豆 6,930万ヘクタール (52%)
- とうもろこし 4,110万ヘクタール (31%)
- わた 1,620万ヘクタール (12%)
- なたね 650万ヘクタール (5%)



(出典:国際アグリバイオ技術事業団(ISAAA)調べ)

どんな用途がありますか？



輸入とうもろこしの多くは主に飼料・加工用に用いられます。
大豆、なたねも油を絞る品種が主流になっています。



コラム

組換え技術を用いるとどんなものができますか？

これまでは害虫や農薬に強いものなどが中心でしたが、最近では、次のような作物（食品）が研究・開発されています。

- 特定の成分の含有量を高めた作物
- 乾燥・塩害に強い作物 など

環境浄化、工業、医薬利用などの食用以外の分野でも研究・実用化が進められています。

